

“市長と若者が語る 古くて新しいまち”

新春座談会



京都国体に向けて スポーツ施設を充実

司会 さて、ふれあい、施設面の充実ということになりますと、昭和六十三年の京都国体まであと四年となったわけですが……

市長 そうです。昭和六十三年に第四十三回目の京都国体が開催されるわけですが、向日市では体操競技と自転車トラック競技の予定をみています。

この国体を成功させるために、まず組織面ですが、二百五十名あまりの各界各層の代表者に集まっていたり、昨年の十月に向日市

国体準備委員会を発足、引育館建設の計画があるという点については、専門委員会なども設け、市民あげての国体というところまで行きたいと思っています。

それと施設の面ですが、健康づくりとふれあいの場となる市民体育館の建設をかねてから計画してまいりました。しかし、国体が京都にやってくることで、割り当てられた競技ができるような市民体育館にしたい、国鉄の東側の森本、鶏冠井



真壁 淳子さん

司会 千二百年記念事業場所があればいいなあと思いますが、市民のコミュニケーション、国体など話し合ってきましたが、若い三人の方、向日市の未来に何を期待し、どうかかわっていかれるのでしょうか。

真壁 私は、ジュニアリーダー会の活動をしていく向日市とかかわっていくことができないかと思っています。同じ大学生などは、向日市は寝に帰るところだけの場所です。若者がスポーツとか文化面でもっと参加できるように



森 尚子さん

そのために市民会館を建設し、同時にふれあいの場として向日市まつりや桜まつりを開催し、また、公民館なりコミュニティセンターを各地域に順次整備を図り、市民のコミュニケーションづくりと育成について努力しているところです。

そのために市民会館を建設し、同時にふれあいの場として向日市まつりや桜まつりを開催し、また、公民館なりコミュニティセンターを各地域に順次整備を図り、市民のコミュニケーションづくりと育成について努力しているところです。



民 秋 市長

パレードなんかがあったらいいなと思いを込めていきたいと思います。

藤田 向日市が若い方が多いので、若い方が中心になって向日市を背負っていかれる時代が来たらいいなと思いを込めていきたいと思います。

また、他府県の人とコミュニケーションすることは、他府県からも多数の方がおみえになると思うんですが、そのときに向日市民として会場はどこですかと聞かれた場合、ちゃんと答えられるように場所だけは市民のみなさんにわかっただけでいいかなと思っています。

まちに魅力を 感じてほしい

藤田 ぼくもボーイスカウトのリーダーの方々に育てられたわけで、ぼくが受け持った指導は、ぼくが受け持った指導を今度はもっと下の年齢層に伝えていって、この意識が生まれ、それがまた向日市とか社会に立派な人物を送れるよう指導していきたいと思いを込めていきたいと思います。

また、東向日駅とか国鉄の駅前を、もっと緑をふやまして向日市とかかわっていくことができないかと思っています。同じ大学生などは、向日市は寝に帰るところだけの場所です。若者がスポーツとか文化面でもっと参加できるように



この座談会と同じテーマ、同じ出席者でKBSから放送します。放送日時—一月四日午前十時—十時三十分。